

2024/1/7

遠野市はたちのつどい

Photo by 広報遠野



実行委員長あいさつ(原文)

令和6年 遠野市はたちのつどい実行委員会
実行委員長 松田 恭吾



本日は、20歳という、人生における大きな節目を迎えた私たちの門出に際し、遠野市長をはじめとする多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、この「はたちのつどい」を制限なく、盛大に開催することができますこと、20歳を迎えた238名を代表して、心より感謝申し上げます。

今年の「はたちのつどい」実行委員会は、10月に6名の仲間とともに組織し、今日の式典が、友人や家族、先生方や地域の方々など、多くの方の記憶に残るものとなるよう準備を進めてまいりました。当初は、少ない人数にも関わらず多くの準備を進めなければならないことに不安になったり、考え方の違いから意見がぶつかったり大変なこともありました。しかし、実行委員それぞれが、持てる力を発揮し着実に準備を進め、会場に来ていただいた方々の笑顔のために、より良いものを作り上げようと全力で取り組みました。

特にも、今日の式典中に実施する実行委員企画「クイズ! だいたい600人の壁」では、20歳を迎えた友人だけでなく、会場にお越しいただいた家族

や先生方、地域の方々など多くの皆様と「楽しく参加」できる方法はどのようなものかを考えぬきました。また、受付でお配りした記念誌は、ひとりで楽しむこともできますし、友人などと表紙をつなげると一つの絵になるような仕掛けをしております。そのほかにも、4年ぶりにフォトブースを設けるなど、接触などの制限なく開催できる今年の式典ならではの企画を用意しておりますので、最後まで節度を持った中で楽しんでいただきたいと思います。

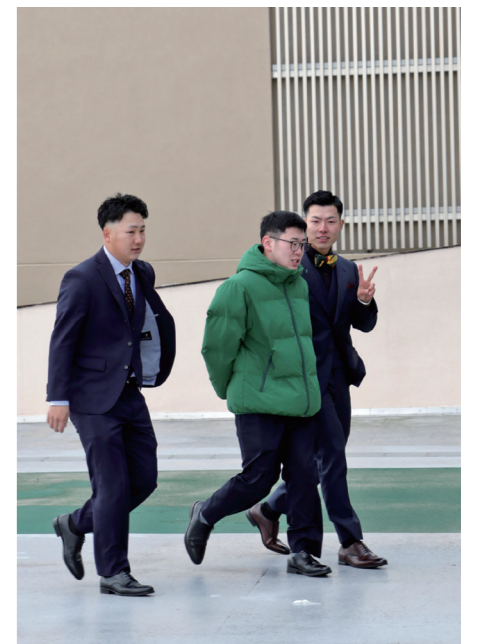
さて、今年のはたちのつどいのスローガンは、「一期一会～自覚を胸に前へ～」といたしました。このスローガンには、「私たちのこれまでの人生を振り返ってみると、様々な人たちと出会い、出会った人から受けた影響によって今の私たちがいること。それは、節目を迎えた私たちにとって代えがたい大切なものであったことをこの機会に改めて思い出すとともに、これから生きていくうえで、人と会う一瞬を大切にしていこう」という想いに加え、「20歳という大人の仲間入りをした自覚を胸に、前に進もう」という決意を

込めています。ぜひ、本日の式典を通じ、大人の仲間入りをした意味を改めて認識していただくとともに、今まで育ててくれた家族や地域の方々への感謝を、ぜひ言葉にして伝える機会としていただくことを、20歳を迎えた同世代の皆様をお願いしたいと考えています。そして、同じ学び舎で生活した仲間と久しぶりに再会できたことに喜び合い、明日を生きるための原動力としていただければ幸いです。

家族の皆さん。そして、先生方や地域の皆さん。私たちは、20歳という節目を迎え、学生として勉強している人、すでに就職して仕事に励んでいる人、夢や目標に向かって頑張っている人など様々ですが、それぞれの希望に向かって全力で歩みを進めてまいりますので、まだまだ未熟ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

結びに、式典開催に当たりご協力をいただきました関係者の皆様、本日まで私たちを温かく見守り、支えてくださった皆様に感謝申し上げます。実行委員長の挨拶とさせていただきます。



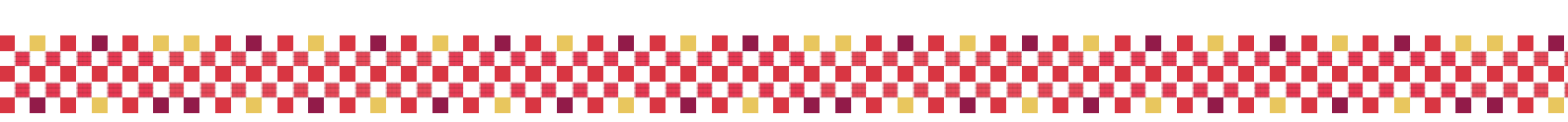






はたちのつどい
期一会く自覚を胸に前へ
日時 令和六年一月七日 午後
会場 遠野市民センター大ホール





遠野市はたちのつどい 2024/1/7 おめでとうございます